

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況
1	7月6日(金)豪雨災害について	当日は避難所を開設し、災害対策本部を設置し、320人以上の方が避難した。人命にかかわる被害はなかったものの、被害の報告は町内全域で200件以上あり。特に丸林地区が大きな被害を受けている。全壊2件、すぐには住めない状態の家屋が2件あるため、町営本桜団地に入居されている。宮浦地区でも基山に上る道が通行できない状況になっている。(登山禁止) 昭和28年に亀の甲池が鳥栖川に決壊していることから、今回の大雨でも決壊の恐れがあったため、1区に避難指示にを発令した。これに伴い、県道17号線は通行止めとした。その後専門家に現地確認してもらい、1区の避難指示を解除したのちに県道17号線が開通した。今後池の補強を行うが、農業用水として亀の甲池を利用している方も減少しているので、利用状況や必要性を検証したうえで、抜本的な池の維持管理を見直していく。	防犯・防災	町長	平成30年7月の豪雨災害にて、農地152箇所、農業用施設70箇所、町道71箇所の被害がありました。令和元年6月末時点で亀の甲ため池1箇所、皮護石地区の農地1箇所以外の復旧は完了しています。		◎
2	関屋井堰について	県(東部土木事務所)からの回答は、県での維持管理はしないとの例年通りの回答だった。堰の維持管理を自治体がしている事例はない。関屋のみというわけにはいかないのので、町内の井堰全てとなると高額な負担がかかり町営化は難しいと考える。井堰の維持管理が負担となっているのであれば、整備の簡素化を検討し、財政負担軽減を図ってはどうか。また、亀の甲池と同様、13区にある2つのため池と関屋井堰をどれだけの農家の方が利用しているのかを検証して、抜本的な維持管理を検討してはどうか。	公共施設の運用管理	町長	関屋井堰は水利組合が管理するという条件で設置しているため、県に返還はできません。 前回、整備の簡素化や財政面の軽減を含めた抜本的な維持管理について提案をさせていただいたところですが、その後、組合内で今後の在り方について検討中であると聞いております。		◎

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況
3	空家対策について	<p>昨年の町長懇談会后、個別に特定の空家の相談を受けた。その空家については、相続人の全員と連絡を取っている。空家問題が解決したわけではないが一歩ずつ解決に向けて進めている。</p> <p>一般的に複数の相続人がいて空家の管理ができない場合は、相続放棄してもらうのが一番早い。しかし、相続放棄にも費用負担がかかる。その費用が出せない人もいるので、対策が難しい場合もある。</p> <p>今年度の町内の空家数は、162件。去年が150件あり、内30件以上に新たな入居があったにも関わらず、空家数が増えている。この状態を深刻に受け止めている。</p>	空家対策	町長	<p>民間の空家活用策としては、町では空家バンクを推進しています。</p> <p>毎年区長様に依頼しております空家調査の結果を受け、空家所有者に対しアンケート調査を実施し、空家バンクへの登録を促しております。</p> <p>また、毎年固定資産税の納税通知書を送付する際、制度案内のチラシを同封し、周知を図っております。</p> <p>空家バンクの実績としては、令和元年6月末現在16件登録があり、制度開始から4件のマッチングを実施しました。</p>		◎
4	マンションに付属する町有地公園の管理について	<p>昨年相談のあったマンションに付属する公園については、2種類あり。1つ目は、町が設置している公園で、町内に10か所ある。2つ目は、開発に伴って民間が設置し、町に移管を受けた公園で、町内に30か所ほどある。開発に伴って設置された公園は、売買契約の際に管理者を定めてあるのが一般的で、概ね住民管理となっている。</p> <p>ニューライフに設置されている公園は、後者の公園で、住民管理となっており、現在も皆さんに管理していただいている。このような町内の公園全部を町営化すると維持管理費用における財政負担が大きいため、町営化するのであれば、税金を上げざるを得ない。落葉等の問題により、維持管理負担が大きいため、町で予算計上することも検討できる。ただし、予算は議会を通すことであるため、必ずしも撤去費用を町が負担や助成出来るとは限らない。</p>	公共施設の運用管理	町長	<p>H30.12にマンション管理組合理事長様と役場建設課が協議を行った結果、令和元年9月議会に樹木伐採費用を予算計上することとなりました。</p> <p>公園内の落ち葉等については、引き続きマンションにお住いの皆様で管理していただきますようお願いいたします。</p>		◎
5	マンションの公園について、先ほど最初の契約に手取りきめているということであったが、契約の中に住民が管理するという文言はない。町とデベロッパーの間で文書を取り交わしているのか。	<p>ニューライフの公園は、開発に伴うマンション面積の3%分の緑地である。マンション建設における開発の協議の中で、開発者と町の方で管理は開発者又は住民で行う様取り決めている文書が残っている。</p>	公共施設の運用管理	副町長建設課長			◎

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況
6	デベロッパーに問い合わせたところ、そのような文章は現在保管されていないとのことであったが、住民とデベロッパーとの取り交わしの文書は町の方にあるのか。	基山町には保管していない。そのことは、開発業者(販売者)の重要事項説明で購入者に伝える義務があると考え。協議書に書かれた公園の管理内容等が正確に住民(マンション購入者)に伝わっているか町の方で確認を取る必要があったと考える。今後、このような確認を取るようにしていく。	公共施設の運用管理	町長副町長建設課長			◎
7	マンションの公園については、町有地であるため、マンション住民以外の人でも利用する可能性があると考え。管理については、これまで通りマンション住民で行うとしても落葉や地面の掃き掃除等負担が大きい。樹木の伐採について、マンションの一存で決めていいのかわからない。(ご神木の可能性はないかなど)	ご神木のある土地にマンションが建設されるという可能性は極めて低い。その公園は、開発に伴って設置されており、マンション住民で管理しているの、樹木の伐採等の判断は、マンション住民及び5区の方で話し合い、町に相談していただければよい。その相談をもって、撤去費用等を検討していく。	公共施設の運用管理	町長	H30.12にマンション管理組合理事長様と役場建設課が協議を行った結果、令和元年9月議会に樹木伐採費用を予算計上することとなりました。公園内の落ち葉等については、引き続きマンションにお住いの皆様で管理していただきますようお願いいたします。		◎
8	大雨における災害後のボランティア要請を消防団員に行ったのか。	土砂撤去等のボランティアについては、地元からの要望に基づき、土日に募集したところ80名(町内55名・町外25名)が集まり、月火に活動していただいた。消防団員の参加の有無は把握していないが、団長等の家も被災していたため、手伝いに来た者もいたかと思う。	防犯・防災	町長	災害発生後の災害ボランティア募集等については、地域からの要望、災害情報等を把握し、社会福祉協議会(以下「社協」という。)と町が協力して、ホームページ等を活用した情報伝達を行い募集等を行います。		◎

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況
9	地域防災計画に消防団員の活動についても規定されていると思うが、団員への要請はなかったということか。	<p>消防団員については、6日の時点で亀の甲池の決壊の恐れや河川の氾濫等があったため、土嚢積みや避難のための声かけ等をしてもらった。消防団の役割はあくまで、被害の拡大防止や人命のかかわる現場での活動であり、民家の泥撤去等は消防団の本来の役割の範疇ではないと考える。意欲のある消防団の方は、ぜひボランティアとして活動してほしい。また、要請してほしいと感じた消防団員がいるのであれば、そのような意見があったことを団長等に伝え、今後の災害に向けての検討するようにしていきたい。</p> <p>防災計画についていうと、先進地域では近隣の方が高齢者や障害者のお宅の寝室まで把握していたことで、救助がスムーズに行ったケースもあったとのこと。町の防災計画だけでなく、区の防災計画等も重要になってくると考える。秋に向けてそのような勉強会を考えているので、参加してほしい。</p>	防犯・防災	町長副町長	<p>消防団の活動につきましては、消火、救出、搬送、警戒、避難等の活動となっており、7月6日の豪雨時は団長の指揮の下、避難の広報活動や土嚢積み、危険箇所等の情報収集等の活動を行っていただきました。</p> <p>ボランティア活動については、消防団に要請は行っていませんが、今後災害の状況により、消防団に要請があった際には、団長を通じて検討いたします。</p>		◎
10	大雪時は渋滞や通行止め等が、深刻な問題となる。対応としてどうなっているのか。	<p>前回の大雪の際は、町内業者の除雪車が町外に出払っていたため、対応が遅れたことが問題となっていた。このことを教訓として、今後は天気予報の情報をもとに雪が降る前に重機を町内に戻しておくこと。路面の凍結の可能性が高いところには事前に融雪剤を置いておく等の対応はできる。除雪については、重機の台数が少ないため、優先順位を決めて国道→県道→町道の順に対応していく。それが終われば、生活道路にも入っていくことが可能。個人の家の前等については、職員が対応したこともある。</p> <p>今回の大雨では、学校を休校しなかった。台風時よりも危なかった為、今後は大雪・大雨時も急行の決断を早めに行いたいと思う。</p>	防犯・防災	町長副町長	<p>主要道路の管理者と情報を共有し、気象情報の収集に努め、路面凍結の可能性が高い箇所等への融雪剤の配置や町内業者との調整を行い除雪等への早期の対応に努めます。</p>		◎

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況
11	小倉交差点の冠水の原因は分かったのか。	冠水の原因は、落雷による停電で、ポンプアップ機能が停止したためである。原因はわかったのですが、同じことにはならないようにする。そもそも、小倉交差点は通常時も湿っているため、そもそも抜本的な解決策が必要であると考えている。	防災・防犯	町長	<p>県道の管理者である土木事務所では、雨季前に排水ポンプの定期点検をおこなっています。また、大雨が予想される場合は、委託業者にパトロールを依頼し、冠水等のトラブルがあった場合、早急に連絡が取れる体制をつくっています。</p> <p>また、交差点内の湿った箇所の原因は、地下水が影響しているとのことで、県が今年度工事を予定しているとのことです。</p>		◎
12	小倉交差点東側の新設された交差点において、朝夕の大型トラックの信号無視が頻繁に見られる。企業への指導をしてほしい。	すぐに企業への指導を行うとともに警察に取り締まりしてもらうように依頼することとする。	交通安全	副町長建設課長	スピード超過等の交通違反が多い場所については、警察と連携して今年度街頭キャンペーンを実施する予定としています。		○
13	関屋井堰は農業用としての機能もあるが、防火用水としての機能もあると考える。防災の観点からも町営化できないか。現在、水引きをボランティアにお願いしている現状である。	防災としての役割とは考えにくい。先ほども言っていたが、農業者及び農地が減少している今、抜本的に井堰及びため池の必要性の有無を再度検討すべきではないか。ため池も年に2回程度しか利用していないとのことであるが、13区からは通学路にあるため池への不安の声が大きい。(子どもの落下等)	公共施設の運用管理	町長副町長	防災として、消防水利の面からは、5区内に消火栓、防火水槽を配置して、消防法の基準は満たしているところです。井堰や水路は、水量が時期で変動することもあり、必ず使用できるものでないため、状況によっては、利用する補助的なものと考えております。		◎
14	今後、数十年すると5区も3分の1程度が空家になるのではと懸念している。新しく建設されている所はいいが、古くからいる者の家は空家になる可能性が高い。また、新しく入った方は組合外となることも多く、組合を合併しないと出事やお宮の維持ができなくなる可能性もある。若い人が帰ってくる政策をお願いしたい。	空家問題は5区だけではない。現在も行っているように定住促進についても力を入れていきたいが、今回の大雨において、ここ数年は災害対策等の安全安心への投資が増えると考えている。区としても新しい人が組合に加入しやすいように出事の簡素化等の検討をしてほしい。	高齢者福祉	町長	<p>子育て・若者世帯向けの施策として、「子育て・若者世帯の住宅取得補助金」「新婚世帯家賃補助金」「新婚新生活支援補助金」などの助成を行っております。</p> <p>また、子育て・若者世代の定住促進住宅(アモーレグランデ基山)を建設し、本年7月から入居開始になりました。今後も引き続き子育て・若者世代の定住促進について積極的に取り組んでまいります。</p>		◎

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況
15	防災無線が低すぎて聞こえづらい。	昨年11月に消防団と連携して防災無線のテストを実施した。その時は町内に3か所聞こえづらいところがあったとの報告を受け、設置場所を改善している。音は、下から上に聞こえるので、あまり高くすると逆に聞こえにくくなることも考えられる。また、防災無線のテストを実施する予定にしている。ただ、町内全域に内容を明確に届けることは難しいので、防災無線発信から1時間以内であれば050-5309-2682に電話すると無線で流れた内容と同じものを聞くことのできるサービスを実施している。このことを区としても区民に周知してほしい。	防犯・防災	副町長	啓発活動の一環として、令和元年6月の運営委員会で地域担当職員から新ハザードマップについての説明と利用周知のお願いいたしました。		◎
16	今回の災害において井堰が倒れていないところもあった。具体的には田中鉄工付近であるが、おかげで氾濫寸前まで水位が上昇していた。町の方で点検してもらえないか。	災害時は点検して回った。油圧式の場合倒れはするものの、戻らない場合があるようだ。確かに倒れていない井堰もあったため、倒してもらおうようお願いした。農業委員会に台帳があると思うので、点検を実施する方向で検討したい。	防犯・防災	副町長	防災上のため、水を溜めているということだったので、大雨で氾濫が予想される際は、事前に井堰を倒すように管理者に話しをしています。		

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況
1	降雨時等に防災無線が聞こえない	昨年度調査を行い、本年度、防災無線3基の増設を行う。また、今年7月より防災無線の内容を流す専用ダイヤルを開設しており、今後も周知に力を入れていきたい。	防災・安全	町長	啓発活動の一環として、令和元年6月の運営委員会で地域担当職員から新ハザードマップについての説明と利用周知のお願いいたしました。		◎
2	5区の空き家対策について所有者が死亡し相続人が決まっていない空き家があり、草刈り等地元で管理を行っているが、放置状態が3年以上になる。処遇について町に確認するものの状況、対応はどのようなのか？	現状、調査により5区には2件の空き家があると認識している。町内には150存在し、うち5件は今年度(2件)と来年度(3件)で取り壊しを予定している。5区の空き家については、担当課に状況確認を行い、区長を通じてお答えしたい。	定住促進	町長	ご指摘の空き家については、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき対応中です。		◎
3	基山小学校への入学者数について	5区からは今年度13名がいた。これは町内では多い方。町内17つの区のうち6つで新入生の9割近くを占めているので今後の課題であると認識している。	教育学習	町長	基山小学校への入学者数(5区)の割合 H31 115人中20人(17.4%) H30 107人中10人(9.3%) H29 94人中13人(13.8%) H28 88人中8人(9.1%) H27 104人中11人(10.6%)		◎

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況
4	<p>ニューライフ2番館の管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の植栽(樹木)管理を町に移管したい。(開発協議で住民管理となっているが25年程経過しており、管理を町へ移管したい。) ・天本町長の時に公園で事故があり、それ以降、公園施設は町が管理することになったのではないか? ・東部水道企業団の上水道料金の請求金額算出方法を変更してほしい。 	<p>この問題については、認識がなく、この場での回答はできない。基山町長は、東部水道企業団の委員でもあるので、料金請求の計算方法については、確認していきたい。緑地の管理については、こちらも担当課と確認を行い、回答したい。</p> <p>※開発協議の中で住民の管理となった経緯がある。また、当該地は、マンションのフェンスで囲まれており、マンションの住民以外には使用・管理できない状況であるとも認識している。</p>			<p>樹木の伐採費用に関しては、令和元年9月議会に予算計上を予定しております。公園内の雑草・落ち葉等に関しては、引き続きマンションにお住いの皆様で管理していただきますようお願いいたします。</p> <p>上水道料金については、東部水道企業団に確認したところ一括メーターから個別メーターに変更する場合は管理会社の費用負担で行う必要があるそうです。その場合初期費用として水道加入金やメーター設置費など一戸当たり約10万円程度の費用が発生します。これらの費用は、マンションにお住いの皆様の共益費や家賃に加算されることとなると考えらえるため、個別メーターへの切り替えについては、マンション管理組合内で十分に協議されて管理会社に相談されるのがよいかと思います。</p>		○
5	基山町の人口について	<p>平成29年6月末で17,354人である。人口増加後(平成初頭から)の最高は、平成11年5月末で19,153人であり、約20年(18年)で約1,800人(1,799人)が減っている。ただし、世帯数は、この間に952世帯増えて過去最高となっている。今後5年間で800世帯の増を目指し都市計画の線引きの見直しによる居住地域の拡大を図っていくため、県に強く要望していきます。</p>	定住促進	町長	<p>令和元年6月末人口が17,371人で平成29年6月末と比較すると17人増で、人口の減少をくい止めた状況になっております。</p> <p>ここ3年間で人口対策とし、「子育て・若者世帯の住宅取得補助金」「新婚世帯家賃補助金」「新婚新生活支援補助金」などの助成。「移住体験住宅建設」、空き家のマッチングを図る「空き家等情報登録制度」などの施策を実施しました。</p> <p>また、子育て・若者世代の定住促進住宅(アモーレグランデ基山)を建設し、本年7月から入居開始になりました。居住区域の拡大を県に要望し、引き続き住宅施策などに取り組んで、2025年までには1万8千人になることを目指しています。</p>		◎

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	対応・進捗	今後の対応	進捗状況
6	佐賀県道132号本郷基山停車場線(5区内)及び県道137号基山平等寺筑紫野線の速度規制について、通学路部分(街中)を現状の50キロから40キロに規制を強化できないか？	今後、関係機関(県道管理者)と協議し、区長を通して回答いたします。	建設	町長	平成29年11月に県道管理者である土木事務所と協議し、当該県道は両側に十分な幅員の歩道があり、通学路として比較的安全な道路であるため、50キロ規制が妥当であると判断しております。		◎
7	関屋井堰の管理について再協議できないか？また、町内の井堰について、農業用水への使用、消防水利の確保等、調査していただけるよう検討してほしい。	昨年5月にも同じ議題がでたが、どうにもならない(町・県では管理できない)と結論はでている。今後、町内のため池の調査とあわせて、井堰の調査も検討していきたい。	建設	町長	関屋井関、13区のため池ともに井堰台帳、ため池台帳に記載され、水利権が設定されています。		◎
8	外国人の増加と対応について	現在、住民票上でも約140人。今後も増加していくと考えられるので、なんらかの形で交流を考えていきたい。	まちづくり	町長	本町の在留外国人数は、平成31年1月1日現在205名で大半の方がアジア系の方で、在留職種では技能実習の方が半数以上です。町では、平成31年4月から交流等の場として、日本語教室「あみいご」を年18回開催予定し、交流やマナー等向上を図っています。今年度は、まちなか公民館を中心とした交流の場づくりに努めています。		◎

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	進捗状況	今後の対応	進捗状況
1	将来人口の減少の原因調査はしているのか。	けやき台地区が一斉に増えて、その子ども等が転出していることの要因が一番大きいと思われる。【町長】	人口減少	町長	住宅取得補助金事業や家賃補助金事業などが後押しとなり、民間事業者による宅地開発も活発に行われておりますので、平成28年から3か年で人口は横ばいから微増となっており、転入者は増加傾向にあります。 平成28年3月末の人口 17,345人 平成31年6月末の人口 17,371人 0-5歳の人口も増加しています。		◎
2	けやき台の知り合いが、息子の就職に伴い家族ごと転出する状況にある。けやき台地区だけでなく、烏栖工業の生徒等も地元で就職させてやりたいと、先生とも話をしたりするが、町としてはどう考えているか。	基山町で、三神地区と筑紫野、小郡の主要な中小企業と同じ範囲の学校とで、マッチング交流会を計画している。町内の子どもの就職先が町内に限られていては選択肢が少ない。広域で地元の就職を考えていきたい。【町長】	産業振興	町長	平成30年12月に無料職業紹介所を役場に開設し、町内から通える就職先を多数紹介しています。オープン以降、33名(令和元年7月17日現在)の就業に結びついています。		◎
3	他の市町村も含めた就職相談会は良いアイデアだと思う。親から言われて、地元で就職したいが、いいところがないという意見も聞く。ぜひ久留米まで入れて、まずは学校の進路指導の先生と、次に生徒の話合いを企画してもらいたい。	二段階の相談会について考えていなかったが、良いと思う。検討したい。けやき台では、子どもが出て行った後のひとり暮らしの親等の課題もある。世帯の高齢化率が多くなっている。【町長】	その他	町長			◎

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	進捗状況	今後の対応	進捗状況
4	小倉地区では、道路の交通量が多くて困っている。車の台数調査はしたか。 消防倉庫の前などの交差点からは、別の信号のために道路に合流できない状況なので、駐停車禁止区域をつかってほしい。	8区からも同じ意見が出た。道路の停止区域は警察が指定するもので、いったん駐停車禁止区域となると、地元では不便となる場合もあることから、8区では町で仮に区域線などを引くなど検討している。【町長】 県道センサスの道路調査で、ピンポイントではないが、交通量等の資料はあるので、調べて回答する。【建設課長】	その他	町長建設課長	緊急車両の通行を妨げないために設置されている「停止禁止部分」は、合流目的で進入・停止した場合、取り締まりの対象になります。同様の要望があった8区では、平成28年9月にカラー舗装工事で対応しています。今後は、各区に依頼している交通安全点検を集約した上で対応を協議していきます。		△
5	関屋井堰の耐用年数は小倉地区からはずしてもらった年数になっているのではないか。大きな施設を管理していくのに小倉地区の財政はひっ迫している。どうにか対策をしてほしい。	国道拡幅で造られた大きな井堰のことだと思う。耐用年数の関係で維持管理に関することだと思う。小倉区に所有権移転がされていると思う。活用できる補助金等がないか調査する。【建設課長】	その他	建設課長	調査し、国、県の井堰管理に対する補助制度はありませんでした。 また、関屋井堰は当時の契約上、5区が引き取ったこととなっています。 町の農業用施設に対する補助金(40%)の長寿命化(大規模部品等機器更新)等で性能向上が認められれば補助対象となる場合がありますので、改修計画等を検討ください。		△

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	進捗状況	今後の対応	進捗状況
6	関屋井堰は、国道3号線の下になるので下げさせてくれとのことで、今の堰となっている。県の事業で、当時は最先端の施設とのことだったが、数千万円契約で小倉のものになっているため、その後の維持管理費が莫大なものになっている。耐用年数が0になれば契約もなしということではないのか。	井堰の話は初めて聞いた。国や県との連絡は密にできているので、国や県の事業費でできる案件であれば交渉してみる。完全に満足いく答えが引き出せるかどうかは分からないが、また返答したい。【町長】	その他	町長	調査しましたが、国・県には井堰管理に対する補助制度はありませんでした。 当時の補償契約は、引き取りの契約ですので、5区が井堰を引き取ったことで契約が成立しています。耐用年数と契約とは、直接関係のあるものではありませんので、今になって契約の取り消しは困難と思われます。		×
7	空き家解体除去補助金の条件等を教えてほしい。	不良住宅の解体補助金は実施します。また、空き家解体除去補助金については今後検討する。細かい話になるが、空き家バンクに登録していただき、解体する場合に補助金を交付することを考えている。【まちづくり課長】 良い土地の空き家等は対象になる可能性が高いと思う。予算の関係もあるので今後検討する。【町長】	定住促進	まちづくり課長	基山町不良住宅除去費補助金交付要綱第2条に定義する不良住宅(倒壊の恐れがあり、危険性が高いなど外観目視により審査会で判定された家屋)に該当する場合、予算の範囲内で補助(5分の4)の対象となります。まずは定住促進課にご相談ください。		◎
8	4月に熊本地震があったが、報道で見ていると基山町の震度は、他の市町に比べて小さいように思う。震度計はどこに設置しているのか。	基山町の震度計は、設置基準に基づき基山町役場の守衛室に設置している。頑丈なところに設置しているから揺れないというわけではない。【副町長】 基山の地盤が強いということだと認識している。【総務企画課長】	防災	副町長 総務企画課長	震度計は設置基準に基づき設置しております。		◎

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	進捗状況	今後の対応	進捗状況
9	災害の際に防災無線で連絡があるが、何を言っているか分からない。5区老松宮の境内に設置してあるが、設置の高さが低いので放送が聞こえないのではないか。	今回の震災の際には、聞こえ過ぎてやかましいという意見もあった。台風の時などは聞こえないと思う。現在とは別の方法も検討しているが、費用面のこともあるので、まずは晴れている日にどの範囲に聞こえているのかテストをするようにしたい。また、伝わりやすい放送のスキル等も検討する。【町長】内閣の危機管理室や消防庁等から自動で放送される。しゃべり方等研究したい。【副町長】	防災	町長副町長	平成29年11月に消防団と連携し、実地調査後、施設改善を行いました。ただし、気象条件等で、明確に届けることが難しい場合も想定し、防災無線発信から1時間以内であれば内容が確認できる電話050-5306-2682)を設置し、その周知に努めております。町民皆さんに配布いたしました新ハザードマップには、防災情報として掲載しており、6月の運営委員会で地域担当職員が説明と利用周知のお願いをいたしました。		◎
10	5区の防災無線のスピーカーが低いところに設置されている。消防倉庫のあたりに設置していただくと良いが、隣の区の放送が聞こえて、住んでいる地区の分は聞こえない。	区の全体をカバーするためには、本数を増やすしかないが、費用面のこともあるので、サイレンやエリアメール等を組み合わせながら連絡するようにしたい。【副町長】町内全体に同じ内容を放送しているので、5区の放送と認識せずに、聞こえる放送を聞いていただきたい。【総務企画課長】風向きなどの天候によっては聞き取りにくいこともある。テストを計画したい。【町長】	防災	副町長			◎

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	進捗状況	今後の対応	進捗状況
11	新しく町長になって感じたことを聞きたい。町内は行政は西高東低の政策だと感じている。3号線より東側に公共施設を一つでもつくるつもりはないか。災害時などに避難所に指定されている施設は東側にはない。	基山生まれ基山育ちです。ただし何十年も外に出ていた。基山について思うことは、これまで恵まれ過ぎていて、町民にも職員にも危機感がない。このままではどんどん悪くなるが、ハングリー精神がないので、耐える力がない。みんなで頑張らなければならない。基山は22kmの小さな町なので、施設等もばらばらに置くのでは無駄で、集約できるものは集約する方がいい。今後、地区の公民館は重要視している。7区では、公民館を拡充することになっている。5区も同じように考えがあるなら活用してほしい。また、なんでも公でするのは無理になってきており、地域の力が必要だ。例えば、ラジウム温泉に出張図書館を置くなど、官と民が連携していかなければならない。5区には住宅も増えており、近くに保育所もあり、活力がある。企業との連携なども考えてもらいたい。【町長】	総合戦略	町長	駅の東部地区においては、第7区公民館を台風・地震の災害が発生した場合の指定緊急避難所として指定しております。今後、各区での防災計画が最も重要であると考えますので、平成30年10月30日に各区長に参加いただき勉強会を開催いたしました。区の防災計画を作成される際に官民連携も含め様々な検討をしていただきたいと考えております。		◎
12	小倉地区や長野地区に工場を誘致するときにたくさんの補助金があったと思うが、それを園部等で使っているのではないか。5区にも2,000万円くらい出してもらえれば公民館も建替えられる。補助金を出してほしい。	7区公民館の拡張費用には700万円程度で、2,000万円の補助は難しい。3号線のあっちとこっちで対立しないようにしたい。5区はいいところを残しつつ最先端で発展していると思ってる。【町長】	公共施設整備	町長	公民館建設については、(宝くじの社会貢献広報事業として自治総合センターが行うコミュニティセンター助成事業があります。補助は、対象となる事業の5分の3まで、ただし、1500万円までの補助の対象となります。		◎

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	進捗状況	今後の対応	進捗状況
13	基山は交通の要衝で住みやすいところだが、そう言いながら人口は減少している。町外では基山のことをよく知られていない。アピールが足りないのではないか。白石は独自にコマercialなどをつくってアピールをしている。基山も取り組むべきではないか。	佐賀県の町なので、どうしても県内に向けてのPRが多くなる。ただし、山口知事が福岡に向けての戦略を進める意向があるので、基山は先兵隊の役割を果たせると思っている。福岡に向けてのPRに力を入れていきたい。【町長】	PR強化	町長	平成28年度に福岡放送(FBS)と連携して、基山町をPRする番組やCMを作成し、放映しました。平成29,30年度は博多駅改札口の柱に移住定住ポスターを貼ってもらい、基山町が移住定住に力を入れていることをPRしました。 その後も、移住専用のホームページや各種イベントに参加して、基山町への移住を呼びかける活動を行っています。		◎
14	基山の人は、町外でもおとなしい。基山の人同士かたまっている感じがする。1350年の歴史や大興善寺などPRしてほしい。	基山の人はPR下手だ。自慢話をせず、奥ゆかしさがカッコいいと思っているかもしれないが、面の皮を厚くしてPRしなければ生き残れないと感じている。福岡に人脈がある人にはPRの手伝いを頼みたい。大興善寺はもみじにも力を入れている。秋の大興善寺は天下一品だ。【町長】	PR強化	町長			◎
15	子どもが減少している。先進国では大学まで医療費を補助しているところもある。沖縄などは出生率が高い。そういった所を研究してもらいたい。	先進国では子どもの対策にお金をかけている。沖縄については、地域で子どもを育てる風習が根付いている。基山町では、世帯は増えているのに人口は減っている状況がある。理由は様々だと思うが、核家族化がすすんでいることは大きな課題だと感じている。【町長】	子育て支援	町長	子育て世代への支援策として、平成29年4月1日から、「基山町子どもの医療費助成事業」の現物給付の対象を高校卒業までに拡大し、佐賀県内の病院を受診した際、その場で助成を受けられるようになりました。		◎

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	進捗状況	今後の対応	進捗状況
16	今年の大雪被害でのビニルハウス倒壊への迅速な対応については良かったが、その後補助金はどのくらい活用されているのか。また、資料の農産物加工場とはどこのことか。	補助金を560万円予算化しているが、実績活用されているのは70万程度となっている。雪の被害を受けた方は、高齢の方が多く、自己負担もあるので、再建がすすんでいない。どのように再建できるか苦心している。共済金との兼ね合いなど取扱いについて県と協議している。農産加工場は、小松の加工場(ちぎりの里)のことで、築30年になる。町の農業振興として考えると更に機能強化したいと思っている。継続してちぎりの里だけでいいのか、農業活性化協議会でも議論をすすめていきたい。【産業振興課長】	産業振興	産業振興課長	農産事業の物加工施設は、検討を行ってきたが、受託予定施設が、高齢化等により、事業への受入ができないこととなり、農産物加工所建設については、一旦白紙としております。		◎
17	図書館によく行くが、本が少ないと感じる。種類をもっと増やしてほしい。	今年4月にオープンして、4月の1月間で1万人くらい来場いただいた。土日や公園と併せての利用も多い。ますますご利用いただきたい。現在の蔵書は6万冊で書架にはまだ少し空きがある状況なので、予算を計上し、H29年までには本の充実を図りたい。ただし、スペースに限りがあるので、皆様からのリクエストをもらい、蔵書を増やしたいと考えている。ぜひ職員にリクエストを伝えてほしい。またクロスロード地域でも借りることができるので、制度を利用してもらいたい。読み聞かせの本だけでなく、ビジネス支援のための本を置くなど、基山らしい図書館にしたいと思っている。【教育学習課長】 毎日1千冊、10日間の貸し出し期間があるので、1万冊が常時貸し出されている状況です。【町長】	公共施設整備	教育学習課長町長	図書館の蔵書は、平成31年3月末で105,941冊で1年間の予約、リクエストが6,378件あり、利用向上に努めています。 ちなみに、人口2万人以下の市町村の図書館では、基山図書館は貸出冊数日本一です。		◎

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	進捗状況	今後の対応	進捗状況
18	下水道事業を伊勢前地区にも広げてほしい。	下水道事業が区全体にすすんでいる地区は少ない。5区は良い方だ。【町長】 伊勢前地区については、今年夏場ごろまでに測量の承諾や受益者負担などの話ができるよう準備をしている。下水道事業の範囲については、工事をして接続されるのが理想。管理費がかかるため、住宅開発の動向等を踏まえ、投資をしていきたい。【建設課長】	下水道	町長建設課長	伊勢前地区は、平成28年度に事業認可を受け、下水管設置工事も完了しております。現在は下水道を利用できる地区となっております。		◎
19	郵便局の駐車場が狭い。本来ならモール商店街に移転してもらいたい。	基山郵便局については、大きな金額をかけて外壁の補修をしたばかりである。また霞が関の本所に行って協議をしたが、“鳥栖が決まらなければ基山も決まらない”と言われている。集配機能は基山に残したまま。移転の協議から切り替えて、駐車場の件で陳情をしている状況である。熊本の九州郵政局にも話をしてもらっている。しばらくの間移転の話はない、駐車場の件はすすませたいので、皆さんの苦情署名等の収集の協力が必要になるときは、お願いしたい。【町長】	その他	町長	郵便局の移転計画は進んではいない。モール商店街には、病院が進出された。郵便局では、平成28年に5台分の駐車スペースを確保されております。		◎

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	進捗状況	今後の対応	進捗状況
20	エミュー事業に力を入れているが、高速PAに職員がはりついている状況では、赤字なのではないか。エミューの肉は、高いしおいしくないの、すすめられないのではないのか。	佐賀牛の中級程度の値段がする。イノシシもエミューも家畜法の対象とならないので、鳥栖保健所の認可で食肉の処理ができる。基山のエミューやイノシシは若い世代にも人気があり、エミューに関してはマスコミによく取り上げられたことで、一定のPR効果はあったと思っている。基山PAのネクスコは出品に際して手数料が高いので、これまで基山の事業者は長続きしていない。現在の出店地ならば手数料が安く出店を決めた。手数料との関係や売れる商品の戦略を立てていかなければならない。基山PAを成功させないと他地域の直売所の要望等は難しいと考えている。トライアル跡地などの話はうごかしていく。5区の皆さんのご協力をお願いしたい。【町長】 エミューカレーは、1回の発注ロットが2,000なので、もう4回発注している。エミュー事業は耕作放棄地の対策として取り組んだ。中山間地域の農業を守るため、商品開発に取り組んだところだ。基山PAとともにふるさと納税、通販、宅配事業にも取り組んでいる。販路が4つできたと思ってもらいたい。これに乗って自分の思った値段で商品を買ってほしい。【産業振興課長】	産業振興	町長兼産業振興課長	令和元年6月現在507羽のエミューが町内で飼育されており、また基山パーキングエリア上りにある基山ふるさと名物市場の売り上げは、平成29年度(6,027千円)と比較すると、平成30年度(9,371千円)は1.5倍上昇するとともに、客数も19.2千人(H29)から29.7千人(H30)と1.5倍上昇いたしました。		◎
21	JR基山駅の東側にある町営住宅をのけて広場にしてほしい。きやま台からは陳情もあっていると思うが、てんじんやま線はいくらか補助金を使って途中までやりかけているが、すすんでいないため、狭いので完成をさせてほしい。小倉の開発が進むと思う。	過去の経緯等があると思うので調査をさせてほしい。【建設課長】	道路	建設課長	割田団地に関しては、公営住宅等長寿命化計画に沿って管理運営を行っておりますので、現在のところ移転等は検討しておりません。 天神山1号線に関しては、アパート開発(H27)の際に県道側を一部残し整備が完了しております。天神山2号線に関しては、道路用地を提供いただいた箇所については拡幅整備が完了し、周辺の宅地開発が進んでいる状況です。		◎